

# PRESIDENT'S MESSAGE

RI会長メッセージ

RI指定記事

## コミュニティアクションから広がるインパクト

水は、私たち全てをつないでいます。人里離れた森を流れる川から、都市部を通る小川に至るまで、淡水の生態系は人類の暮らしを支えています。しかし近年、これらの水への負担は増大しています。汚染や過剰利用、気候変動の影響は、淡水の保護が世界共通の課題であることを、改めて私たちに突き付けています。

ロータリーは常に、変革は地域社会から始まると信じてきました。現在私たちは、コミュニティアクション、すなわち地域社会での行動が、どこまで大きなインパクトを与えるか見極めようとしています。地域社会での奉仕が人を結び、評価され、共有されるとき、その力は地域や国境を超えて広がっていきます。

この考えを体現しているのが、パナマ・ノルデステ・ロータリークラブが主導する水プロジェクトです。同プロジェクトは、パナマのダリエン州に暮らす先住民コミュニティのために実施されました。この地域へはカヌーや小型ボートでしか到達できず、道路もなく、電力供給も限られています。住民は未処理の川の水に頼らざるを得ず、深刻な健康リスクにさらされていました。

このコミュニティに支援を届けるため、ロータリアンは物資や支援の提供方法そのものを見直す必要がありました。パナマのクラブは、アメリカのクラブおよび水分野の専門団体と連携し、電力網のない地域でも利用可能な太陽光発電による水処理システムを導入しました。さらに、現地のリーダーがシステムの操作や維持管理の研修を受けることで、設置作業員が去った後も、安全な水が安定して供給される体制を整えました。

成果はすぐに表れました。病気のために学校を休みがちだった子どもたちは教室に戻り、川から水を運ぶ重労働から解放された大人たちは、その時間と体力を家族を支える仕事に充てられるようになりました。水プロジェクトとして始まった取り組みは、やがて、より健康で強靱な地域社

会を築く基盤となったのです。

このように私たちは、地域のリーダーシップに、グローバルなパートナーシップ、専門知識、そして長期的な視点を組み合わせることで、インパクトが及ぶ範囲を広げています。

同じ精神は、「淡水保全のためのコミュニティアクション」を通じた、ロータリーと国連環境計画（UNEP）とのパートナーシップの中核にも息づいています。世界各地で、ロータリークラブとローターアクトクラブが、水路の回復、湿地の保全、重要な淡水源の保護に取り組んでいます。これらの取り組みを可視化し、測定するためのデータを収集することでそのインパクトをより深く理解し、地域での奉仕が世界的な解決策にどのように貢献しているかを示すことができます。

もちろんデータは目的ではなく、学びと改善のための手段です。ロータリーの奉仕が、測定可能な真の変化をもたらすための道具なのです。プロジェクトが登録され、水環境が回復されるたびに、それは責任を持って淡水を守るといふ、私たち共通の物語の一部となります。詳しくは [communityactionforfreshwater.org](http://communityactionforfreshwater.org) をご覧いただき、ぜひこの取り組みにご参加ください。

「水と衛生月間」に当たり、皆さんの地域社会を支える淡水の仕組みと、それを守るためにロータリーが果たせる役割について、改めて考えてみてください。

地域での行動を世界的なビジョンにつなげることで、私たちは持続可能な変化をもたらすことができます。手を取り合い、インパクトを広げることで、私たちは真に「よいことのために手を取りあう」ことができるのです。

フランチェスコ・アレッツォ

2025-26年度 国際ロータリー（RI）会長